

2012年9月20日 まちむら興し塾

ナショナル・トラストによる自然環境保全

(株) JTBヒジネスイノベーションズ
松岡 弘美

1 はじめに

(1) 本テーマを取り上げる背景

現在、神奈川県ナショナル・トラスト運動の会員ということで、運動のご紹介をしたい

(2) ナショナル・トラストとは？

ナショナル・トラストとは、破壊されるおそれのある貴重な自然や歴史的環境を守るために、広く国民から寄付金を募って上地や建造物を買取り、あるいは寄贈を受け、さらには所有者との間に保存契約を結ぶなどして、保存、管理、公開をする活動をいう。

※ 木原啓吉『ナショナル・トラスト（新版）』三省堂、1998年、4頁参照。

2 イギリスにおけるナショナル・トラスト運動

(1) ナショナル・トラストの設立（1895年）

イギリス北西の景勝地・湖水地方の美しい自然を都市化と開発の波から守るべく、3人の市民（ロバート・ハンター、オククヒア・ヒル、ハートウィノク・ローンズリー）により提唱され、設立された。

・ベアトリクス・ポター女史

湖水地区の森を買取り寄付。

自然と観光の一体化した活動としてイギリスで初めて認められた

(2) TCPの立ち上げ ～観光と自然保護の両立～

・TCP（ツーリズム・コンサベーション・パートナーシップ）

・「（自然観光資源は）我々のものではなく、我々に預けられたもの」

*日本の法人会員の事例

ルックJTBで、対象コースを申し込むと旅行代金の中から5ポンドが寄付金に充てられる。参加者にはナショナル・トラストから証明書とピーター・ラヒソトのピンハッシが渡される。

3 日本におけるナショナル・トラスト運動

●鎌倉風致保存会

日本で初めての、ナショナル・トラスト運動

鎌倉風致保存会 活動の歩み

- 1960年(S.35)頃 鎌倉の宅地造成開発ラッシュが起こる。
- 1964年(S.39) 1月
鶴岡八幡宮裏山「御谷」の宅地造成計画に対し、地元住民を中心に反対運動が起こる。この運動に、大佛次郎はじめ、鎌倉在住の多くの著名人が参加する。
- 1964年(S.39)12月 財団法人鎌倉風致保存会が設立される。
- 1965年(S.40)11月 風致保存会が保存区域69ヶ所約850haを認定する。
- 1966年(S.41) 6月
御谷山林 1.5ha を市民・企業からの寄付金900万円と鎌倉市からの600万円をあわせ、1,500万円で買収し保存する。

詳細：http://www.fsinet.or.jp/~fuhchi/hozonkai/html_data/ayumi.html

●その後の広がり

北海道斜里町「知床国立公園内100平方メートル運動」
和歌山県田辺市「天神崎市民地主運動」

4 (公財) かながわトラストみとり財団のご紹介

会費 個人会員2000円、家族会員3000円 現在会員約1万人
会員の特典 会員証提示すると植物園入園料割引

(1) 公益財団法人かながわトラストみとり財団の事業について

- トラスト緑地の保全活動
→神奈川県を設置する「かながわトラストみとり基金」による緑地の買入れや寄贈、土地所有者との緑地保存契約による保全活動。
- 県民参加の森林づくり
- 緑の募金と緑化運動
- 地域の緑化の推進
- 広報活動

(2) トラスト緑地について

県民参加の森作り

- ・久田(くでん)緑地(大和市)、
 - ・桜ヶ丘緑地(横浜市)、
 - ・小網代の森緑地(三浦市)
- 森から海へ、海のゆりかご 26年から利用開始

皆様はエコ・環境保全には関心が高く、たくさんの質問が飛び出し、とても盛り上がりました。